

菜園ハウス H-4572 部材一覧

保管
〈1909〉

A × 2 ケース					E ケース				
No	品名	規格	数量	形状	No	品名	規格	数量	形状
①	アーチ用パイプ	22×260 cm	13(26)		②④	天ビニール	約 厚み 0.1×幅 6.0×長さ 11	1	
②	ラセン杭	小	5(10)		②⑤	側ビニール	約 厚み 0.1×幅 1.85×長さ 25	1	
③	カラー番線	G8# 約8m	1(2)		②⑥	扉ビニール	約 厚み 0.1×幅 2.0×長さ 1.3	1	
B ケース					F ケース				
No	品名	規格	数量	形状	No	品名	規格	数量	形状
④	脚用パイプ	22×186SPcm	26		②⑦	外ジョイント	25×18cm	13	
C ケース					②⑧	パッカー	19用	45	
No	品名	規格	数量	形状	②⑨	ターンバックル	3/8	2	
⑤	横通し用パイプ	19×180 cm	5		③⑩	水系	約100m	1	
⑥	横通し用パイプ	19×180S cm	15		③⑪	Wニューユニバーサルジョイント	25×19	2	
D ケース					③⑫	Tバンド	22×19	8	
No	品名	規格	数量	形状	③⑬	フックバンド	25×19	11	
⑦	前用パイプ	19×180SPcm	4		③⑭	フックバンド	19×19/22兼用	44	
⑧	〃	19×250S cm	1		③⑮	Rバンド	5芯×約150m	1	
⑨	〃	19×168 cm	2		③⑯	掛金		1	
⑩	〃	19×156 cm	2		③⑰	蝶番	19用	2	
⑪	〃	19×127 cm	1		③⑱	ボルト・ナット	M5×25	8	
⑫	〃	19×124 cm	2		③⑲	スパナ	19×19	1	
⑬	〃	19×96 cm	2		④⑰	ラセン杭用パイプ	19×60 cm	1	
⑭	後用パイプ	19×180SPcm	3		内梱小箱 (前後パイプ用部材)				
⑮	〃	19×250S cm	3		④⑱	Wニューユニバーサルジョイント	25×19	1	
⑯	〃	19×200 cm	1		④⑲	Wニューユニバーサルジョイント	22×19	14	
⑰	〃	19×170 cm	1		④⑳	フックバンド	19×19/22兼用	17	
⑱	〃	19×130 cm	1		④㉑	Tバンド	22×19	6	
⑳	〃	19×127 cm	1		④㉒	Tバンド	19×19	2	
㉑	扉用パイプ	19×100 cm	4		④㉓	ストレートジョイント	19用	11	
㉒	〃	19×180 cm	2		組立説明書:1 注意書・部材一覧:1 軍手:1				
㉓	ロングパッカー	19×180 cm	14						

裏面『安全上のご注意』を作業前に必ずお読みください。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

⚠️警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷*1を負う可能性が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

🚫禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。置いただけの設置は絶対に行わないでください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

🚫禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

🚫禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

🚫禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

🚫禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

🚫禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

🚫禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

🚫禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

🚫禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

🚫禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

🚫禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

🚫禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

🚫禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

🚫禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

🚫禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

🚫禁止 換気に注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

⚠️注意

この項目は「人が傷害*2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害*3の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

🚫注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

🚫注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

🚫注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

🚫注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降りし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降りしを行ってください。

🚫注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

🚫注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

🚫注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

🚫注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまったら場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

🚫注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。

菜園ハウス

組立説明書 **保存**

【1909】

H-4572型



この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
 この商品の組み立て作業は、成人男性2人以上で行なってください。
 組み立てる前に部材一覧表と梱包部材に相違が無いことを確認し(小さい部品の管理に注意してください)、
 『安全上の注意』を良くお読みになり、安全に作業してください。



製造発売元 南榮工業株式会社
 〒885-0004 宮崎県都城市都北町 5025
 TEL 0986-38-0111

(ケース名) (部品 No) (寸法) (数量)

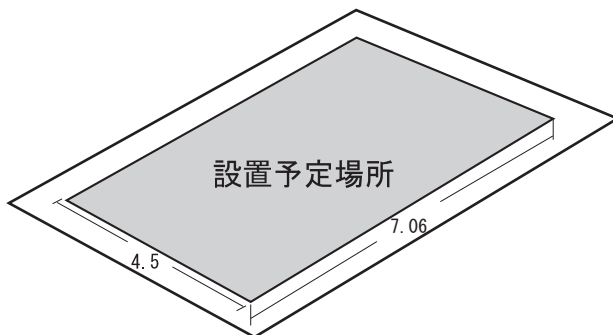
- 各組み立て手順の項目ごとに **Aケース ① 22×260cm 13(26)** の表示があります
 その項目で使用する部材ですので、先ず揃えてください。
 ○各項目ごとに組み立て手順/イラストを一回良くお読みになってから作業を進めてください。

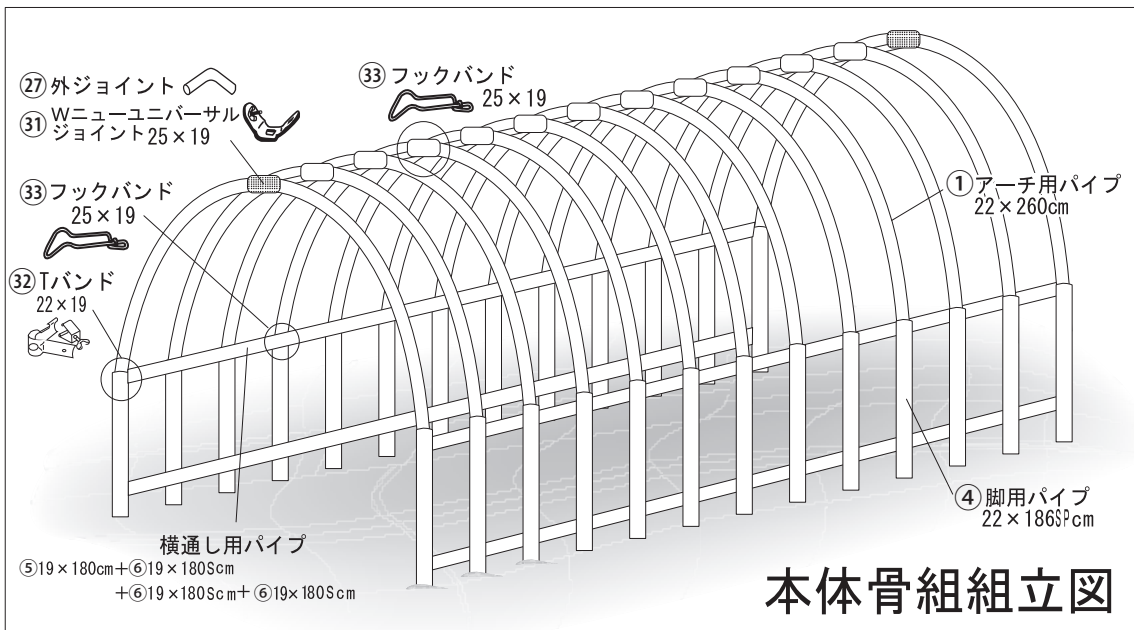
1 必要工具を準備します。

<p>メジャー (寸法測定用)</p>	
<p>B・C・Dケースにスケール印刷あり</p>	
<p>Bケース表面スケール 脚ノパイプ用 埋め込み45cm/水糸用60cm</p>	
<p>Cケース表面スケール 間隔用58.5cm</p>	
<p>Dケース表面スケール 各パイプ寸法確認用 (200cm まで表示)</p>	

2 整地をします。

作業性を考えて広めに整地してください。





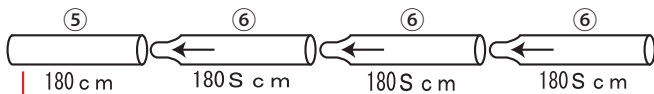
まず、本体骨組みを組立てます。③～⑨までで上記骨組みが完成します。(後部⑩、⑪、前部⑫～⑯、ビニール⑰～⑳)

③ 横通し用パイプを継ぎ印を付けます。

Cケース ⑤ 19×180cm 5本

Cケース ⑥ 19×180Scm 15本

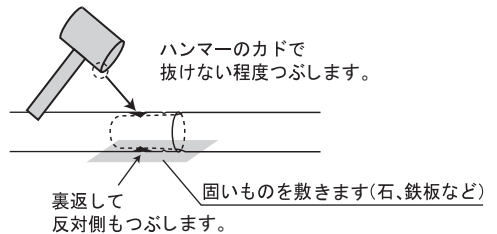
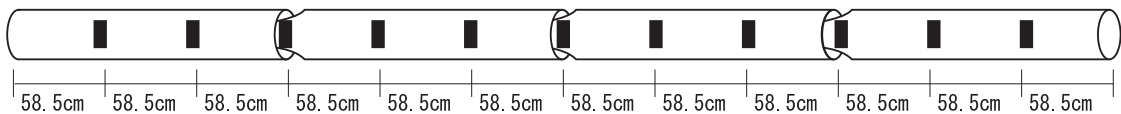
- (1) ⑥と⑥を差し込み、⑤に差し込んでください。
- (2) 継いだ横通し用パイプに58.5cmごとに印を付けてください。⚠ 全ての継ぎ目を抜けない様につぶしてください。(完成後、風などの揺れで、抜ける事が有ります。)
- (3) 継ぎ目を抜けない様にしてください。



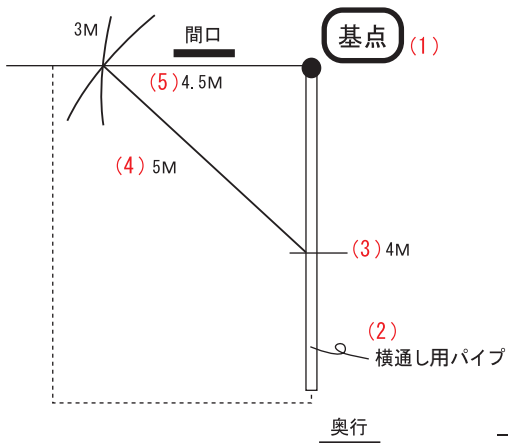
注意 穴の開いているパイプ ②② ではありません。



58.5cm間隔に印を付けてください。⚠ 脚用パイプの埋め込み・取り付け位置となります。



④ 基点を決め、直角を出します。

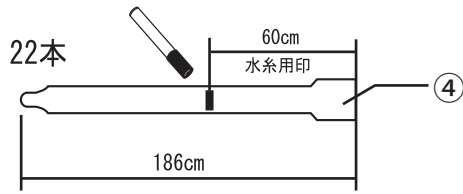
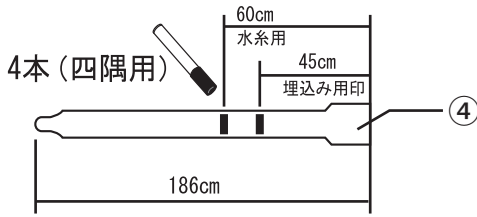


○直角を出す方法

- (1) 基点を決めます。
- (2) 横通し用パイプを1本置きます。
- (3) 基点から4M(横通し用パイプに対して)・3M(間口に対して円をかく用に)印を付けます。
- (4) 横通し用パイプ上の4Mの印から5M(円をかく用に)とり、3Mとの接点をだします。
- (5) 基点と接点に線をひき、基点より4.5Mに印を付けます。

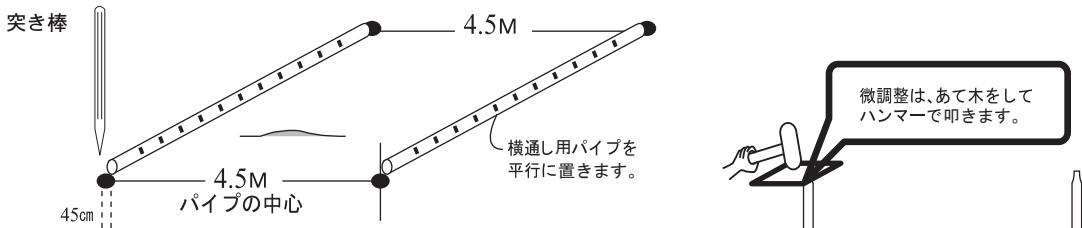
5 脚用パイプに印を付けます。

Bケース ④ 22×186SPcm 26本



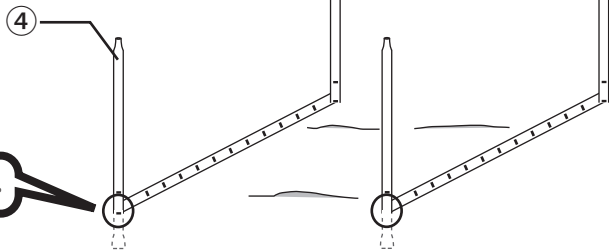
6 脚用パイプを建てます。

- (1) 継いだ横通し用パイプを4.5m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に約45cmの穴を掘ります。



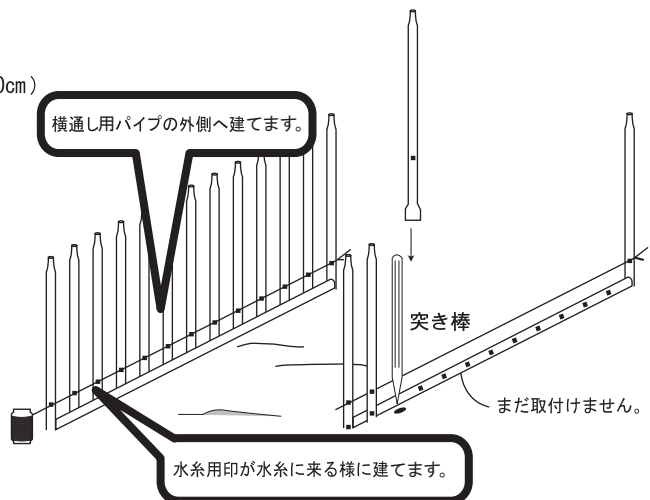
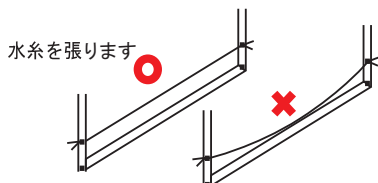
- (2) 四隅に開けた穴に ④ (四隅用)の45cm印と地面が合う様に建ててください。

埋め込み印と地面を合わせます。



Fケース ③⑩ 水糸 1個

- (3) 四隅に建てた④のパイプに付けた印(水糸用60cm)に、③⑩を結び付け、張ります。
- (4) 横通し用パイプに付けた印(58.5cm間隔)の位置に約45cm穴を掘ります。
- (5) 残りの④のパイプを建てます。(張った水糸と、④のパイプの水糸用印(60cm)が、合う様に建てます。)



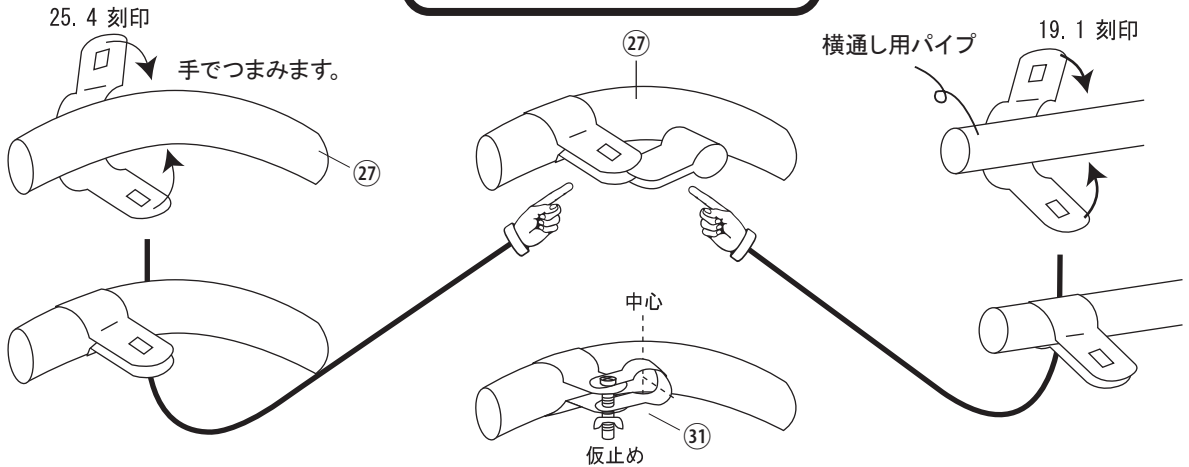
7 外ジョイントに部品を取り付けます。

F ケース ②⑦ 外ジョイント 2本

F ケース ③① Wニューユニバーサルジョイント25×19 2組

- (1) ③①の部品を一旦バラして、②⑦に25.4(刻印)・横通し用パイプに19.1(刻印)を、それぞれ合わせて形を作ってください。
- (2) 形を作った ③①を②⑦で組み合わせてください。

前後用として、2組準備します。



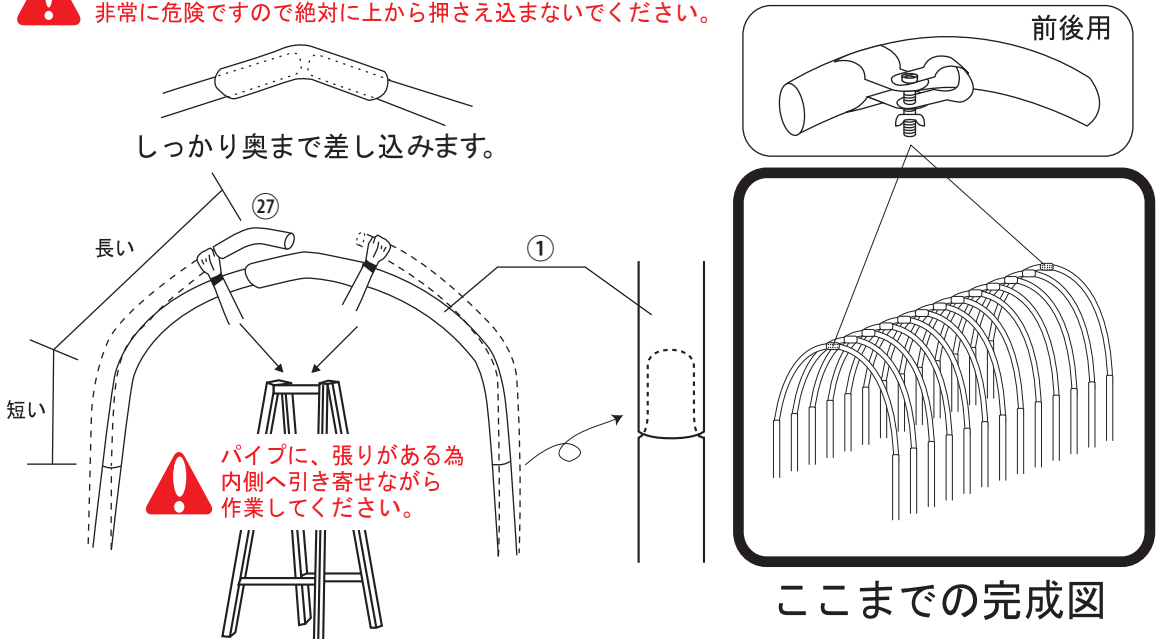
8 アーチ用パイプを脚用パイプに差し込み、組みます。

A ケース X2 ① 22×260cm 13×2=26本

F ケース ②⑦ 外ジョイント 11本

- (1) ①の曲がりの短い方を④に、差し込んでください。
- (2) ②⑦を①に差し込み、継ぎます。7で作った2組は、最前と最後に使用してください。

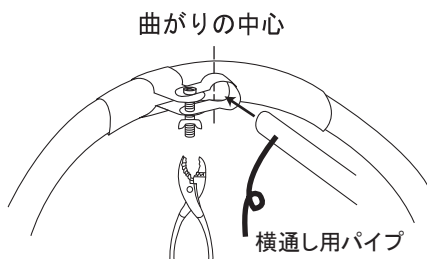
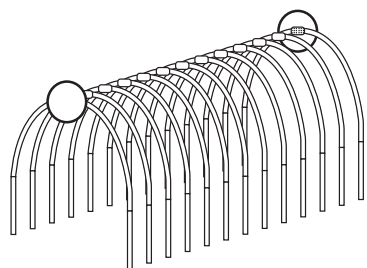
! 上から押さえ込む様になると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないでください。



9 横通し用パイプを本体内側に取り付けます。

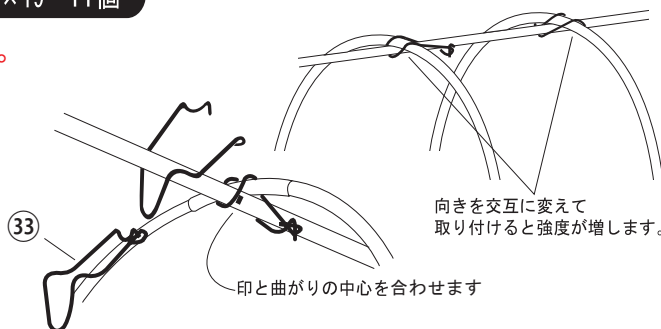
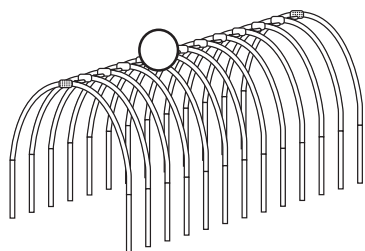
(1) 図の順番に横通し用パイプを取り付けてください。

前後2箇所に取り付けてください。



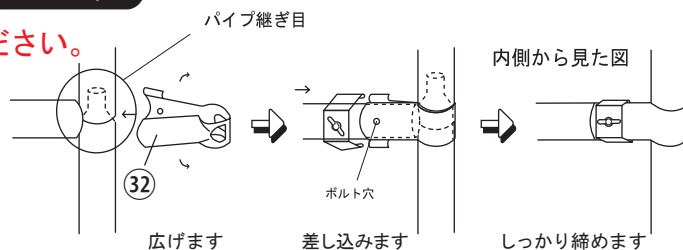
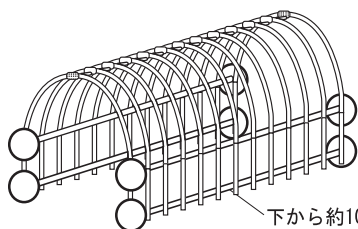
F ケース ③③ フックバンド25×19 11個

中11箇所に取り付けてください。



F ケース ③② Tバンド22×19 8組

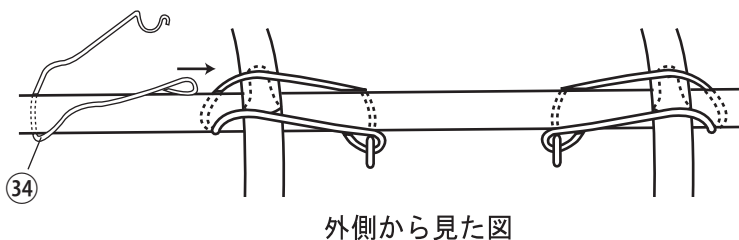
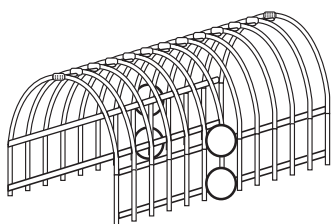
前後左右8箇所に取り付けてください。



ネジ突起部は、内側へ。

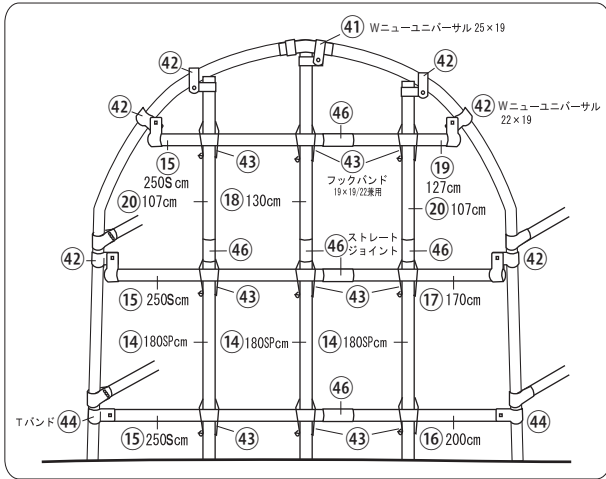
F ケース ③④ フックバンド19×19/22兼用 44個

左右中44箇所に取り付けてください。

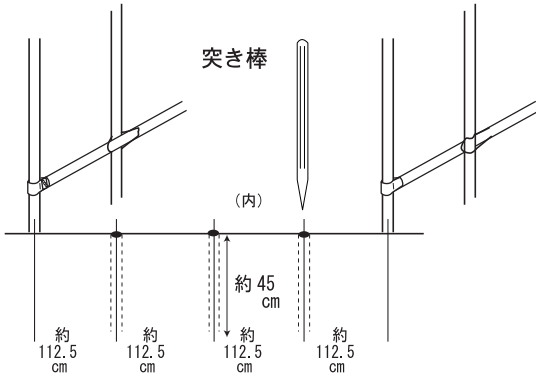


本体骨組完成

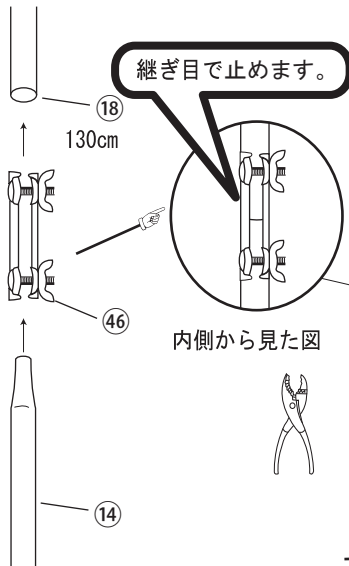
10 後部用パイプを組み立てます(出入り口ではありません。)



(2) 間口の中心に、約 45cm 穴を掘ります。

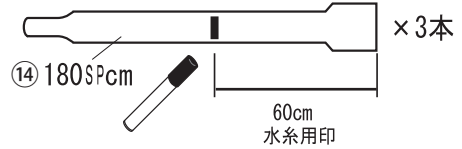


(4) 建てた⑭に、④⑥を先に通しておき、⑭に⑱を差し込み継ぎ目を④⑥で止めてください

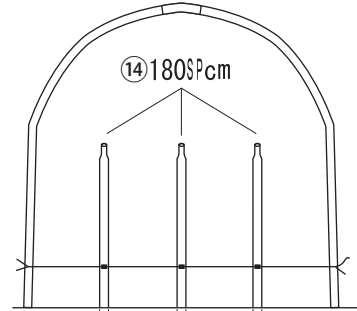


- D ケース ⑭ 19×180SP cm 3本
- D ケース ⑱ 19×130cm 1本
- D ケース ⑳ 19×107cm 2本
- F ケース ④① Wニューユニバーサルジョイント25×19 1組
- F ケース ④② Wニューユニバーサルジョイント22×19 2組
- F ケース ④⑥ ストレートジョイント 3個

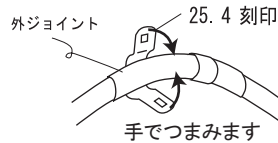
(1) ⑭後用パイプ3本に、印を付けてください。



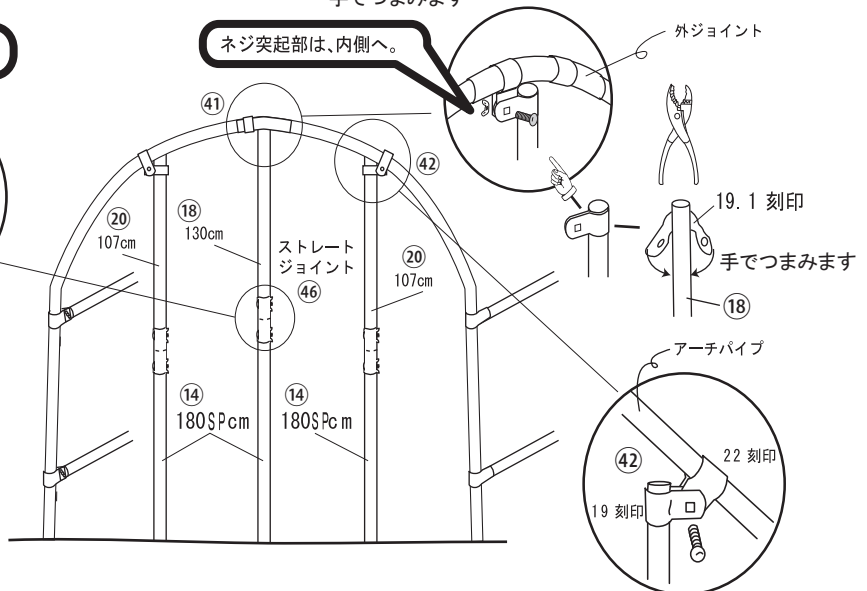
(3) 間口両端脚用パイプの水系用印に水糸を張り、⑭の印が合う様に建ててください。



(5) 天井外ジョイントの部分に④①を取り付けて、⑱を止めてください。



(6) 同様に⑳107cmも取り付けてください。(2ヶ所)

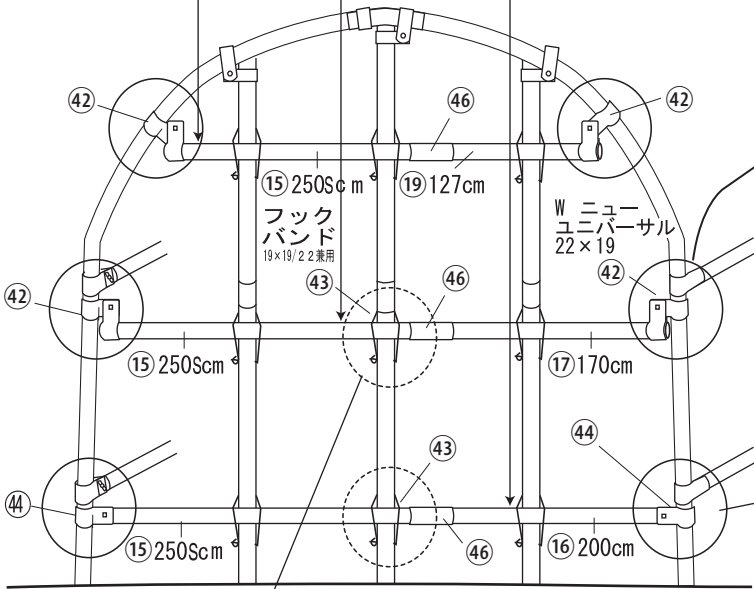
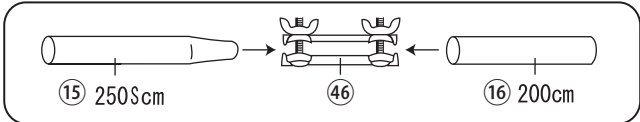
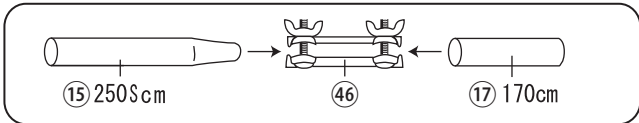
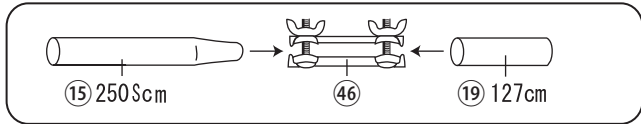


11 後部用パイプを組み立てます(出入り口ではありません。) つづき

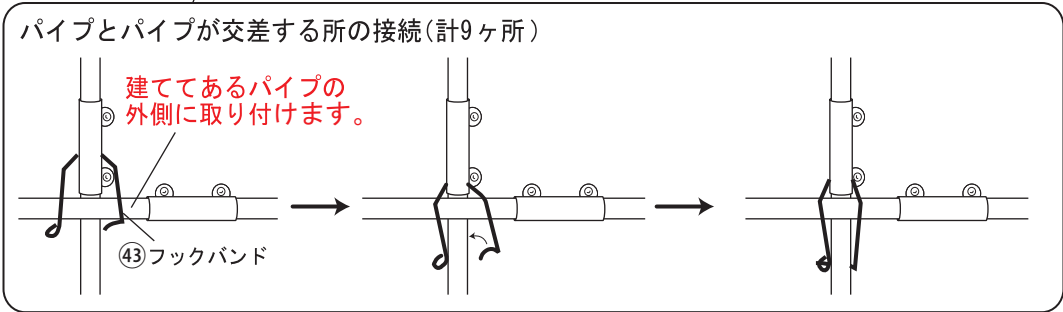
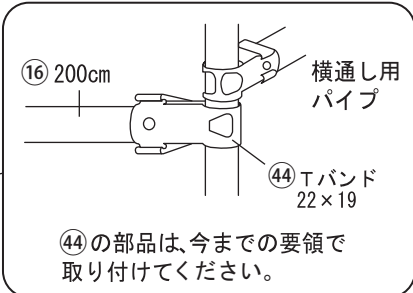
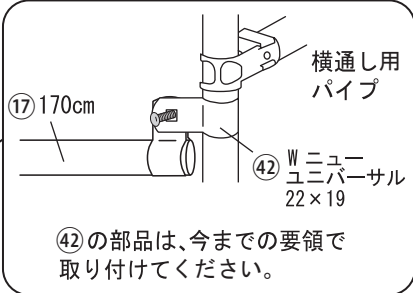
- | | | | | | |
|--------|-----------|----|---------|----------------------|----|
| Dケース ⑮ | 19×250Scm | 3本 | Fケース ④② | Wニューユニバーサルジョイント22×19 | 4組 |
| Dケース ⑯ | 19×200cm | 1本 | Fケース ④③ | フックバンド 19×19/22兼用 | 9本 |
| Dケース ⑰ | 19×170cm | 1本 | Fケース ④④ | Tバンド22×19 | 2組 |
| Dケース ⑲ | 19×127cm | 1本 | Fケース ④⑥ | ストレートジョイント | 3個 |

今までの要領で継いでください。

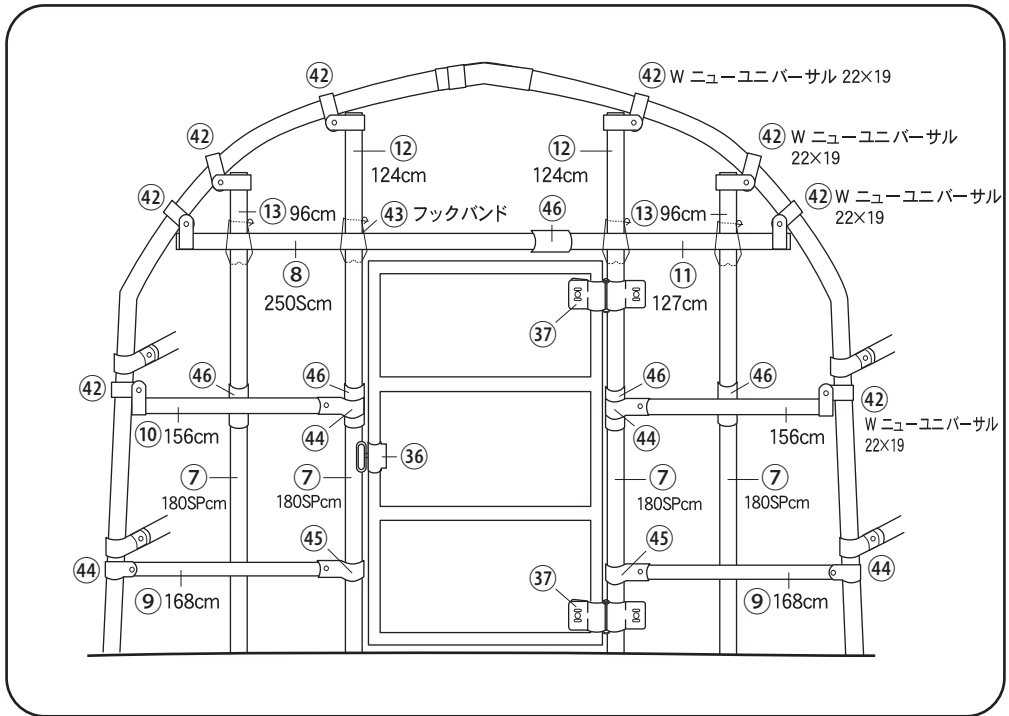
継いだパイプ(横に通るパイプ)は間口中心に建ててあるパイプ(3本)の外側に取り付けます。



外側から見た図



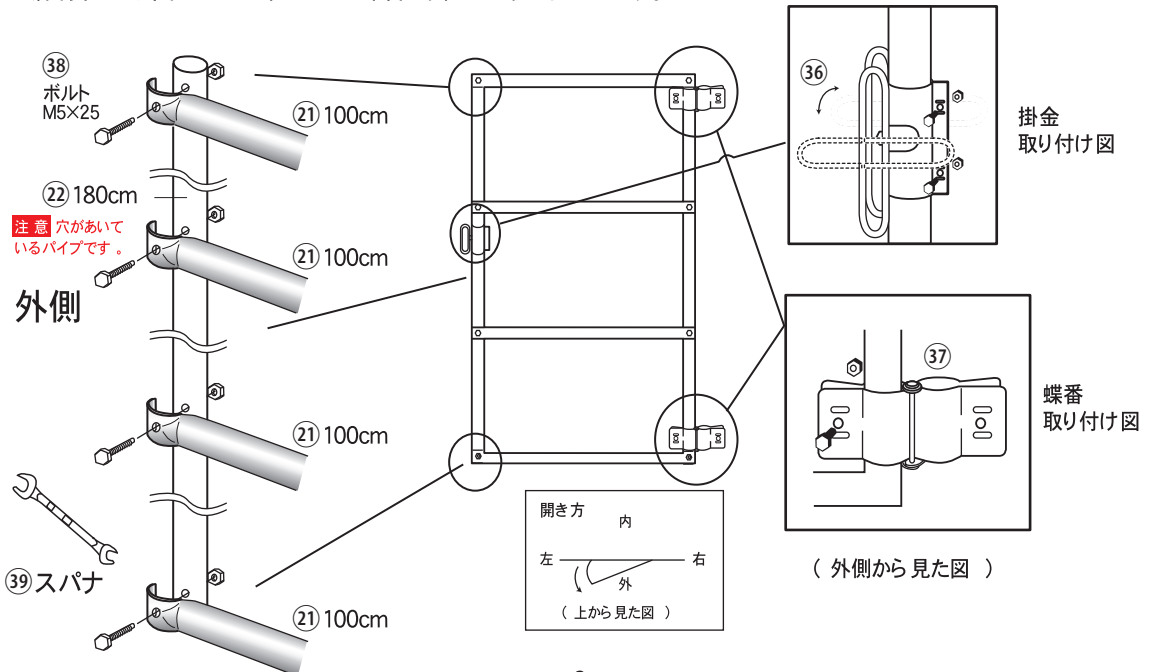
前パイプを組み立てます(出入り口)



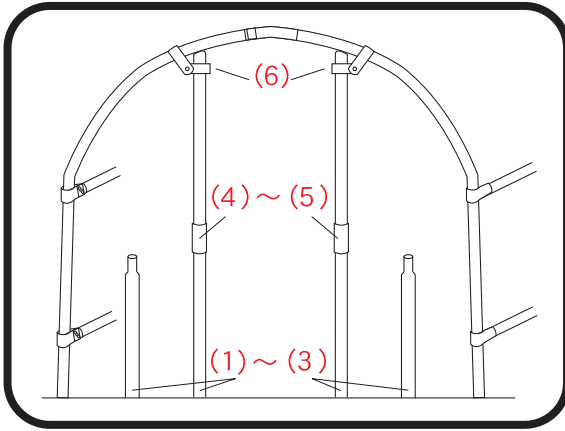
12 扉を組み立てます。

- | | | | |
|--------------------|----|------------------------|-----|
| D ケース ②1 19×100cm | 4本 | F ケース ③8 ボルト・ナット M5×25 | 各8個 |
| D ケース ②2 19×180cm | 2本 | F ケース ③6 掛金 | 1個 |
| F ケース ③9 スパナ 19×19 | 1個 | F ケース ③7 蝶番 19用 | 2個 |

扉骨組を下図のように組立て、蝶番と掛金を取り付けます。



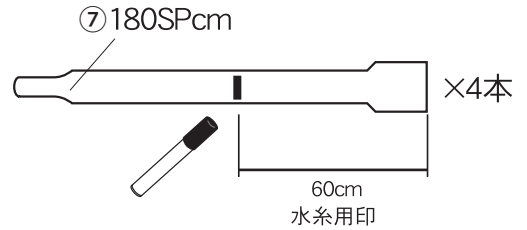
13 前パイプを組み立てます(出入口) つづき



12 で組立てた 扉

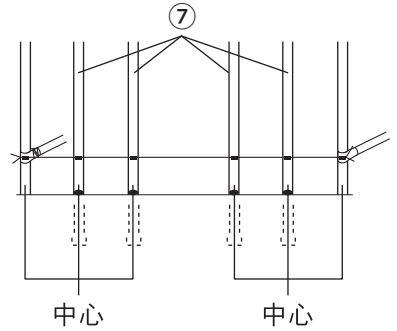
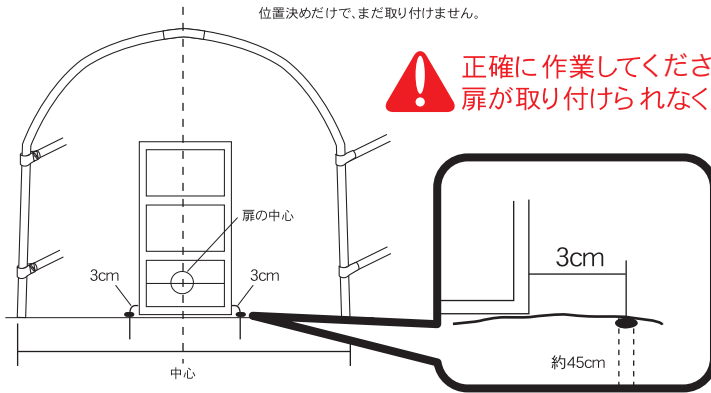
D ケース ⑦ 19×180SPcm 4本

(1) ⑦前用パイプ4本に、印を付けてください。



(2) 間口と扉の中心を合わせて、扉の両端より左右3cmの位置に約45cm穴を掘ります。

(3) 間口両端脚用パイプの水糸用印に水糸を張り、⑦の印が合う様に建ててください。



D ケース ⑫ 19×124cm 2本

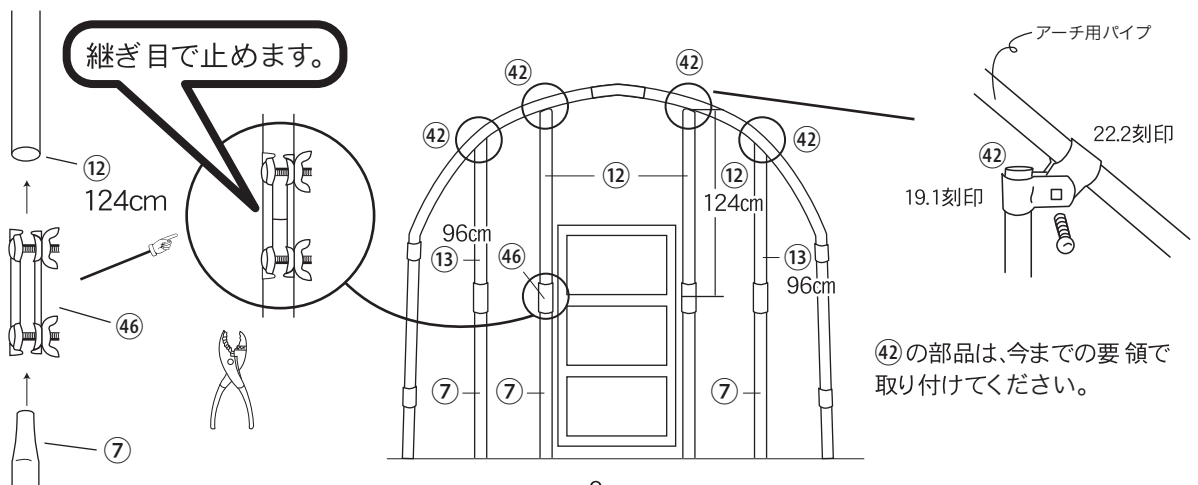
F ケース ④② Wニューユニバーサルジョイント 22×19 4組

D ケース ⑬ 19× 96cm 2本

F ケース ④⑥ ストレートジョイント 4個

- (4) 建てた ⑦ に ④⑥ を各々先に通しておき、⑦ に ⑫ を差し込んでください。
- (5) ⑦ と ⑫ の継ぎ目を ④⑥ で止めてください。
- (6) ⑫ の先端部とアーチ用パイプの接点を ④② で止めてください。
- (7) ⑬ も同様に止めてください。

! 扉との間隔を確認しながら止めてください。



14 前後用パイプを組み立てます (出入り口) つづき

Dケース ⑧ 19×250Scm 1本

Dケース ⑨ 19×168cm 2本

Dケース ⑩ 19×156cm 2本

Dケース ⑪ 19×127cm 1本

Fケース ④② Wニューユニバーサルジョイント22×19 4組

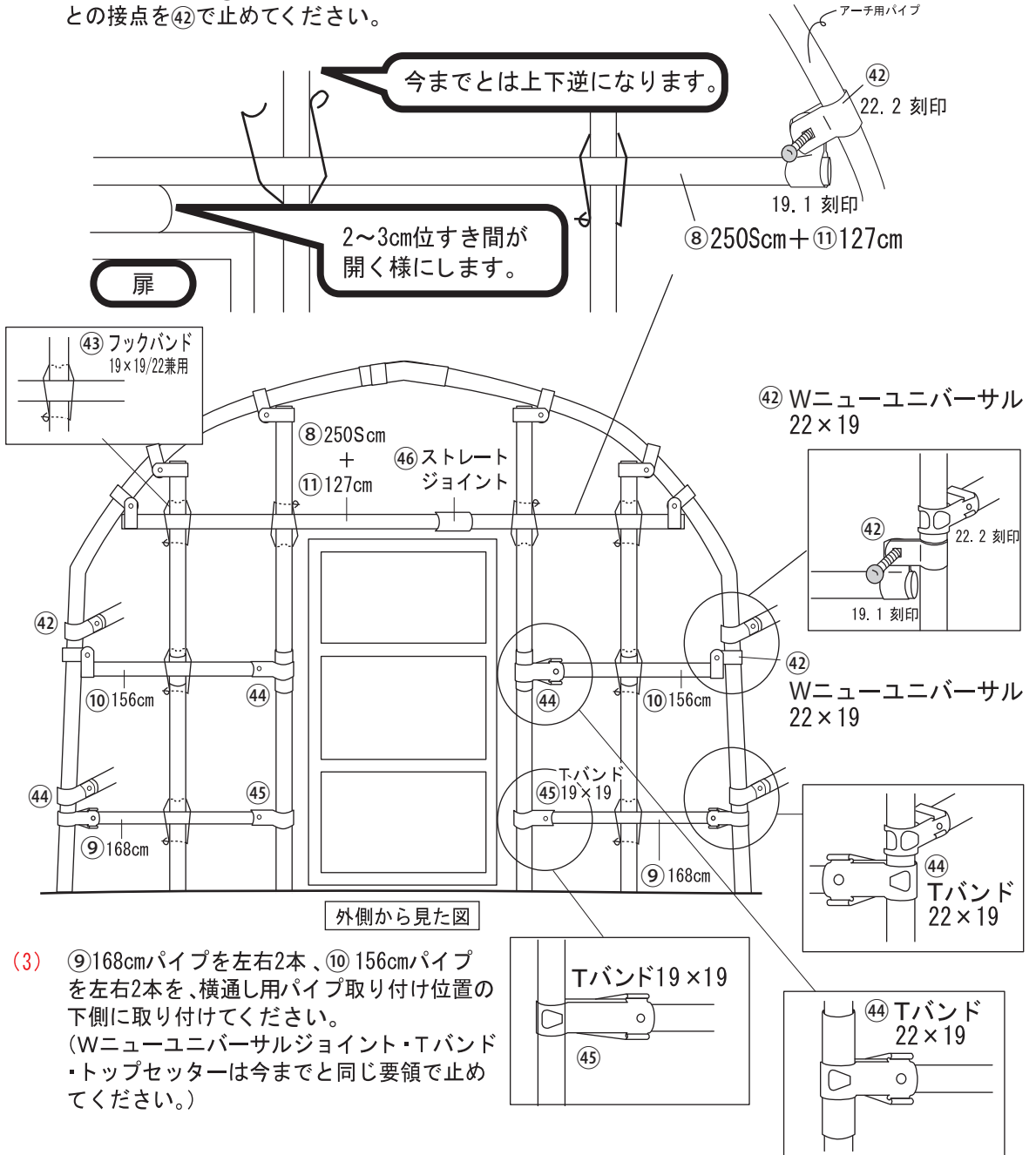
Fケース ④③ フックバンド19×19/22兼用 8個

Fケース ④④ Tバンド22×19 4個

Fケース ④⑤ Tバンド19×19 2個

Fケース ④⑥ ストレートジョイント 1個

- ⑧ 250Scmパイプと⑪127cm パイプを今までの要領で④⑥を使い継ぎます。
- 継いだパイプを④③で扉上部より2~3cmすき間が開く様に取り付けてパイプの両端とアーチ用パイプとの接点を④②で止めてください。

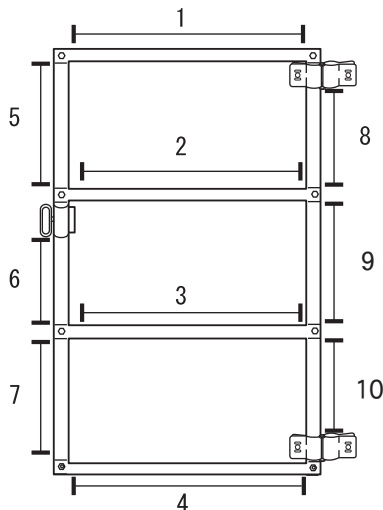


15 扉にビニールを張ります。

Dケース ②③ ロングパッカー 19×180cm

Eケース ②⑥ 扉ビニール

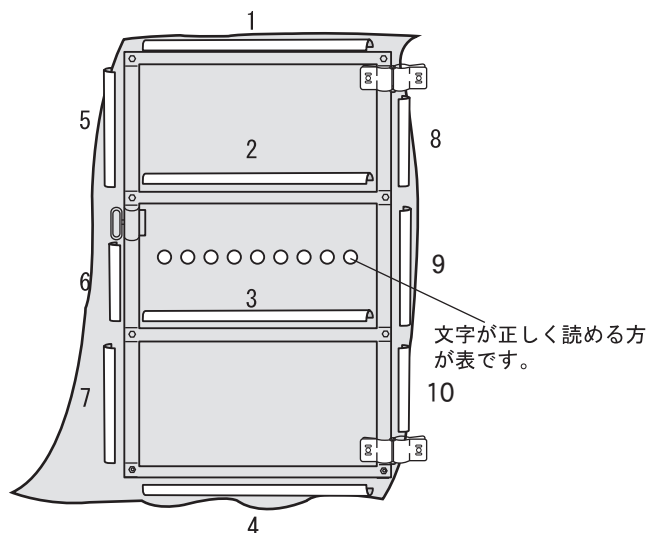
扉にビニールを張り付ける為に、②③を切り揃えてください。



②③ロングパッカーを各1～10の寸法に金ノコノコギリでそれぞれ切ります。



- ②③は、カッターで無理に切ろうとすると非常に危険ですので絶対にカッターでの作業はしないでください。
- カナノコノコギリ使用の際は、ケガをしないよう注意してください。



- ビニールをピンと張りながら、各数字の順番に取り付けます。(あまり強く張りすぎると取り付けにくいです)
- パッカーは、風などにより、外れないようにキツくなっています。
- 取り付け、取り外しを何度もされるとビニールが破れますので、注意してください。

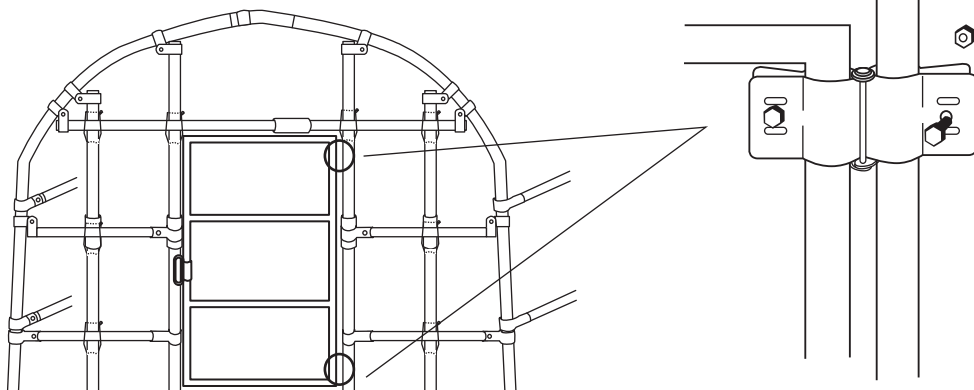


- ②③は1回で取り付けの様に止めてください。(何回もやり直すとビニールが破れます。)
- ②③は、はずれにくい様にきつくなっていますので、内側から同様に抑え込む様に取り付けます。

16 扉を本体に取り付けます。

取り付け後、開閉がスムーズに出来るか確認してください。

金具のボルトナットの突起部が内側になる様に取り付けます。



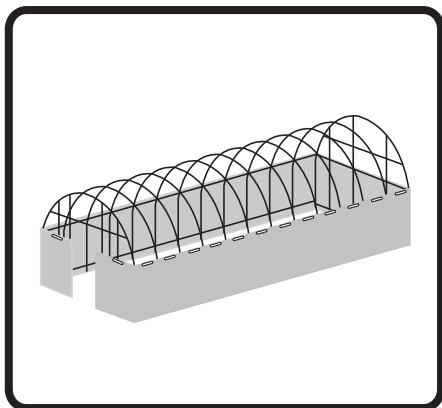
17 側ビニールを張ります。

Eケース

25 側ビニール

Fケース

28 パッカー 45本



作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかない様に注意してください。



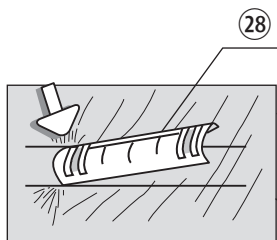
ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらない様にしてください。



28は1回で取り付ける様に止めてください。
(何回もやり直すとビニールが破れます。)

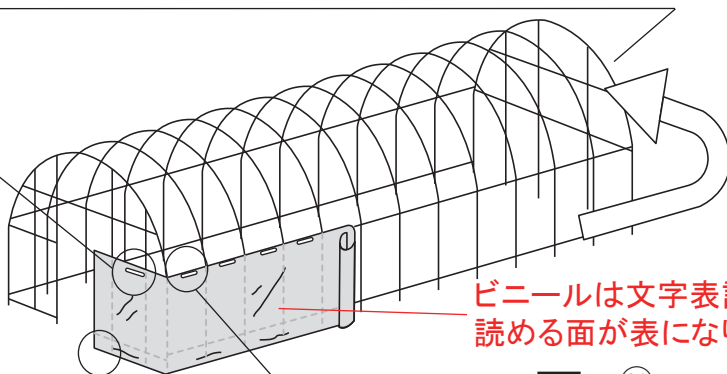
完成予定図

横面は、ビニール全体を均一な力で引っ張りながら、各パイプの間の横通し用パイプにパッカーで取り付けます。

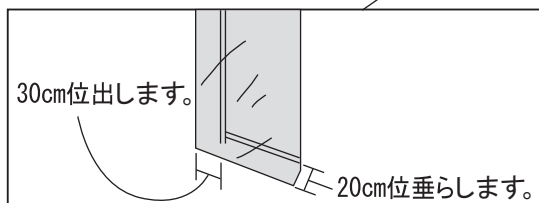


前面、後面は、28を全体的に差し込まず、片方だけ差し込み、仮止め状態にして置きます。

(天ビニールを被せた際に、ロングパッカーに差し替えます。)

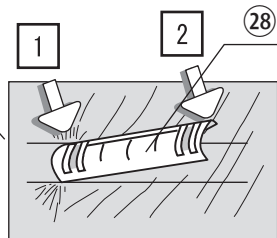


ビニールは文字表記が、読める面が表になります。



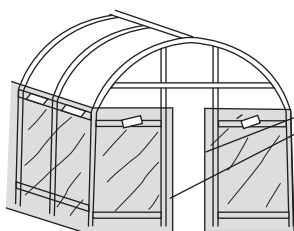
30cm位出します。

20cm位垂らします。



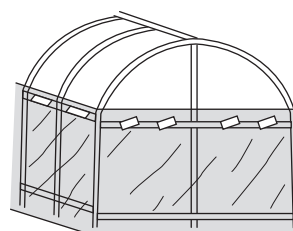
横通し用パイプに、斜めに差し込みます。

※ パッカーは、パイプに対して片側から斜めにはめ込んでいきますと、作業がしやすいです。



前 (仮止め)

約15cm残し切り取ります。



後 (仮止め)

18 本体前部に合わせてロングパッカーを切ります。

Dケース ②3 ロングパッカー 19×180cm

(1) 本体にビニールを張る為に②3を切り揃えてください。

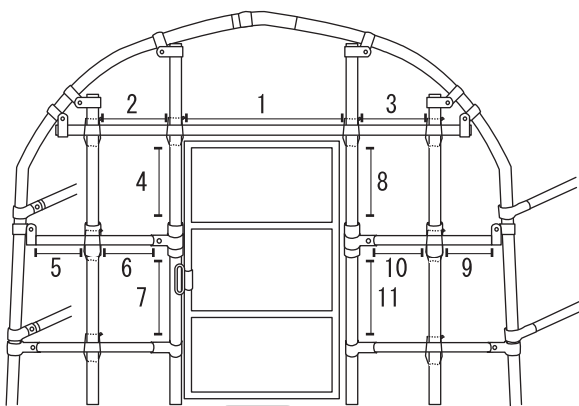
Dケースのロングパッカーを各1~15の寸法に金ノコノコギリでそれぞれ切ります。



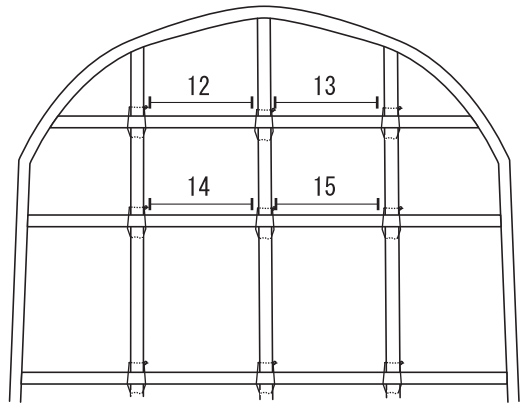
②3は、カッターで無理に切ろうとすると非常に危険ですので絶対にカッターでの作業はしないでください。



カナノコノコギリ使用の際は、ケガをしないよう注意してください。



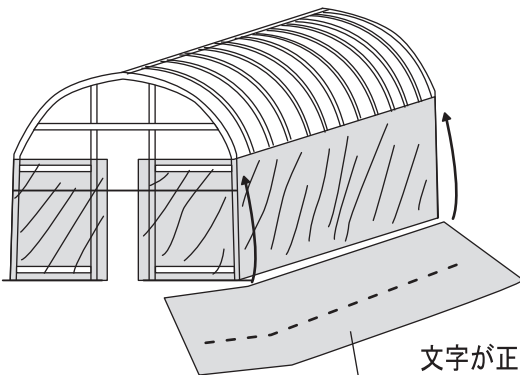
前



後

19 天ビニールを被せます。

Eケース ②4 天ビニール



作業する前に、周辺を整理してビニールが傷つかないように注意してください。



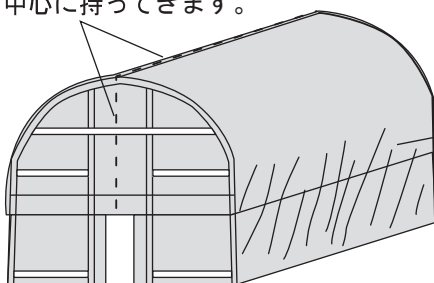
ビニールを引っ張る際は、傷つきやすいので引きずらないようにしてください。



風の強いときは、思わぬ力で引っぱられますので作業しないでください。

文字が正しく読める方が表(外側)です。

文字を中心に持ってきます。



この部分は、天ビニール、側ビニールが重なりあいます。重なりあう部分は左右対象、同じ量に調整してください。

20 天ビニールを張ります。

1~15にカットしたパッカー



骨組みに合わせる様にして止めますのでシワができますがシワも一緒に止めてください。
内側から、外側から、斜めに差し込む様に押しながら止めます。

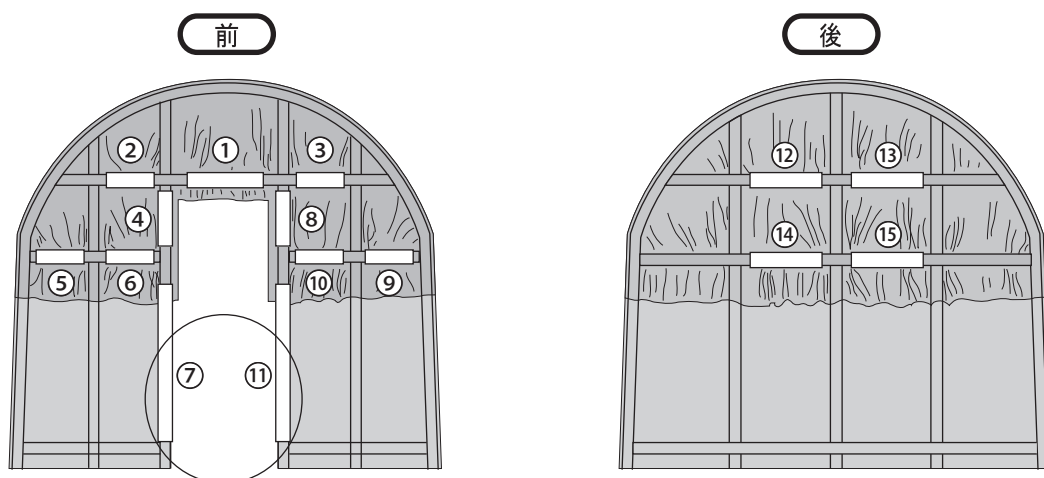


⑳は1回で取り付ける様に止めてください。
(何回もやり直すとビニールが傷つき破れるおそれがあります。)



㉑は、はずれにくい様に多少きつくなっていますので、
内／外側から同時に抑え込む様に、㉒の要領で取り付けます。

- (1) 前後左右のかさなり部分を確認しながら、後を㉑で仮止めしてください。
 - (2) 前の方に天ビニールをピンと張りながら、前の方を1~11にカットしておいたパッカーで数字の順番に止めてください。
 - (3) 後の方の仮止めを外して、(2)の要領で12~15に止めてください。
 - (4) 前の扉部分は、15cm位残して切り取ってください。
- ※ 前後の天ビニール下端部は、特にそのままでも構いませんが、切り取られる際はケガ・切りすぎ等に注意してください。

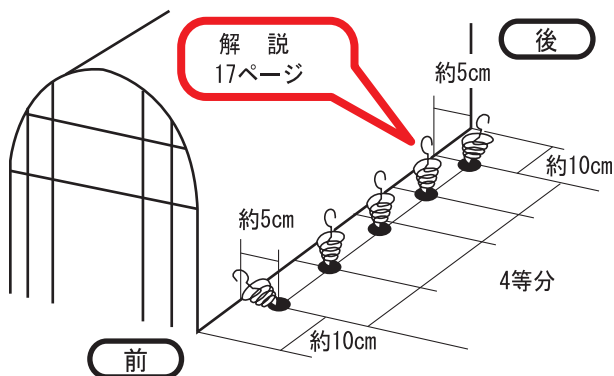
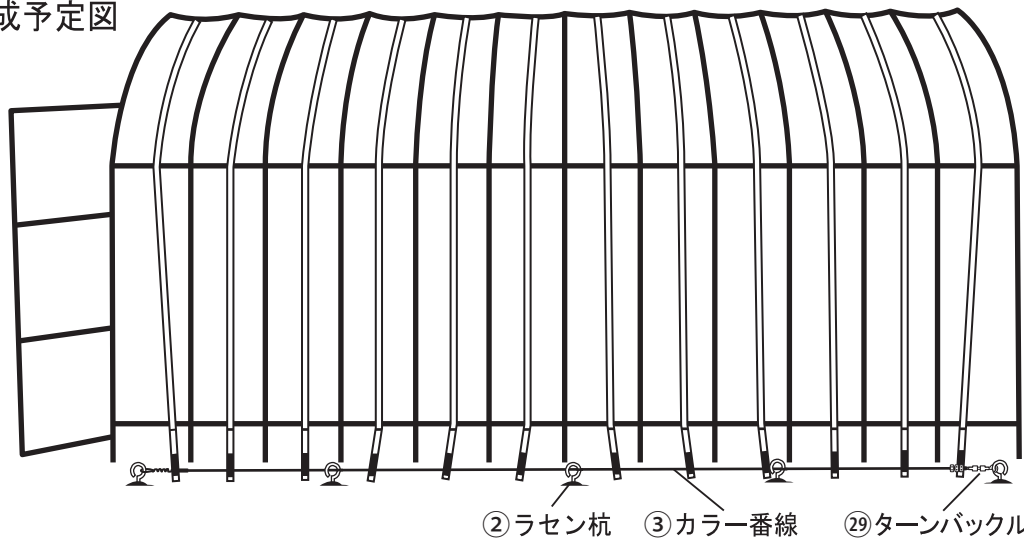


分かりやすくする為
扉は、書いてありません。

扉部分は、三方共15cm位残して切り取ってください。
カッター使用の際は、ケガ・ビニールの切りすぎに注意してください。

21 ラセン杭をねじ込みます。

完成予定図



Aケース×2 ② ラセン杭 小 5×2 10本

Aケース×2 ③ カラー番線 G8# 約8m 2本

Fケース ⑲ ターンバックル 3/8 2本

Fケース ④⑩ ラセン杭用パイプ 19×60cm 1本

片側ずつ作業します。(1)～(6)まで終わりましたら同じ要領で反対側も作業してください。

- (1) ラセン杭を、上図の位置にねじり込んでください。
- (2) 端のラセン杭に、③カラー番線を引っかけてしっかり止めてください。

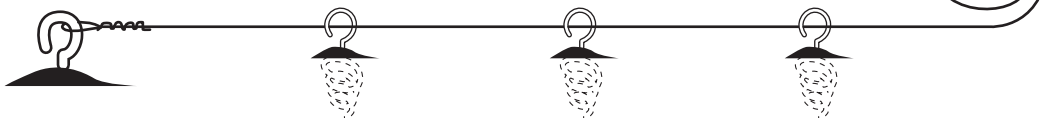


折り返し等を長めにとると、もう片方の長さが足りなくなりますので注意してください。



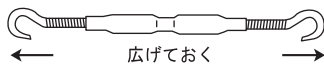
番線

- (3) 番線の中側のラセン杭に通してください。



(4) ⑲ターンバックルを、片端のラセン杭に引っかけてください。

取り付ける際に、最大に近い所まで広げてください。



(5) ⑲ターンバックルに③番線を引っかけてしっかり止めてください。



番線をピンと張って止めます。



(6) 弛めておいたターンバックルのネジ部を締めてください。

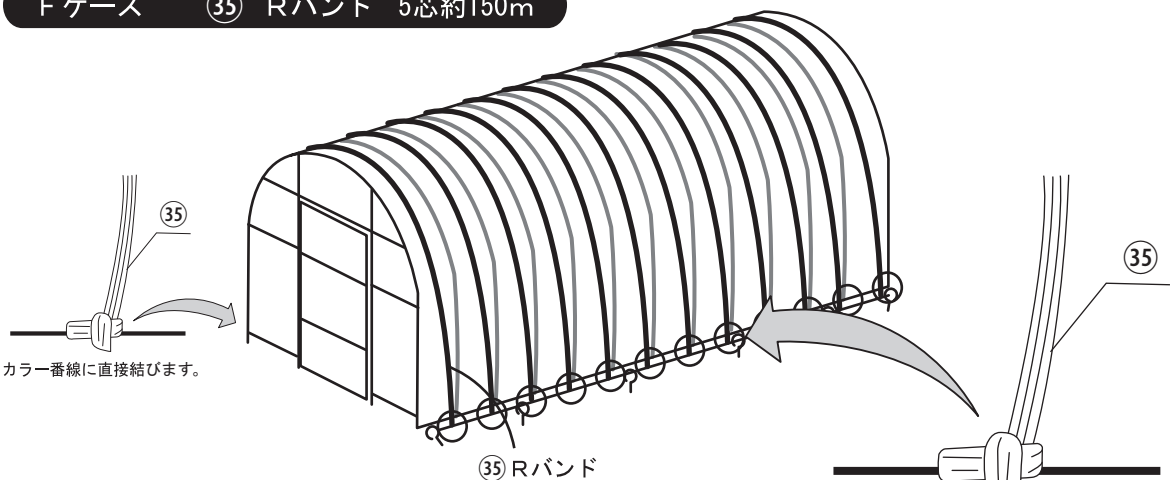


番線がピンと張る位にします。



22 ビニールを押さえます。

Fケース ⑳ Rバンド 5芯約150m



カラー番線に直接結びます。

カラー番線に直接結びます。



各パイプの間にバンドを張ります。

番線に⑳を図のように直接結び止めてください。

※ Rバンドは定期的に締め直してください。

■商品を末永くご愛用していただく為にも下記事項をお読みください。

■規格等が分かるように、全ての用紙を保管してください。

●ビニールについて

○ビニールを燃やすと、有毒なガスが発生しますので絶対に燃やさないでください。

○側ビニールを巻上げたままにしておくと、下ろす際にくっついて破れる事がありますので注意してください。

○替ビニールの販売もしています。

●パイプについて

○パイプは、特殊亜鉛メッキ加工を施してありますが、長年ご利用されていると切り口等から錆びが発生します(設置条件で年数は変わります)ので、そのまま使用されると接触したビニールが破れるおそれがありますので錆び付いたパイプ(部品含む)は、交換してください。

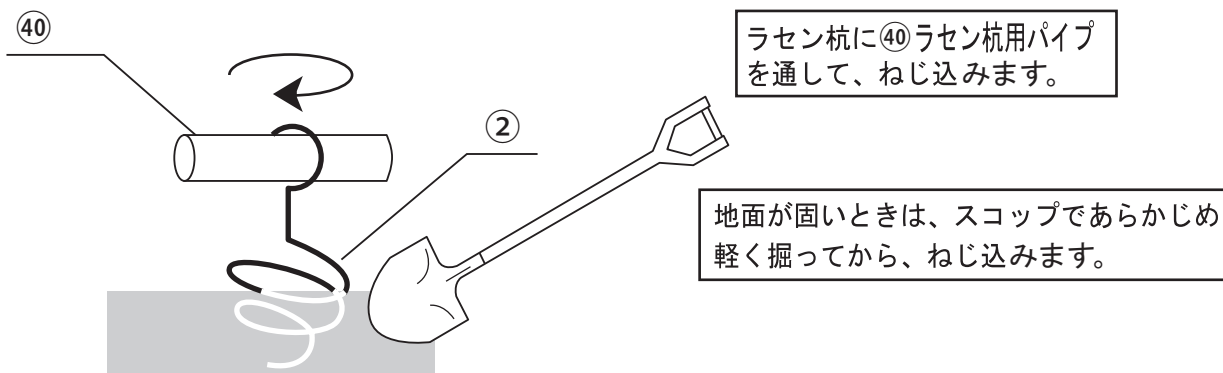
●バンドについて

○長年ご利用されていると老朽等により裂化します(設置条件で年数は変わります)。そのまま使用されると接触したビニールが破れるおそれがありますので、裂化したバンドは交換してください。

解説

Aケース ② ラセン杭 10本

Fケース ④⑩ ラセン杭用パイプ 19×60cm 1本



※ ④⑩ラセン杭用パイプは、ラセン杭を打ち込む作業以外使用しませんので、別途、管理してください。



両端の杭は中側へ向かって斜めにねじり込みます。

